

1987-88年度

会 長 方 針

会長 平 野 桂 樹

当クラブ創設のスポンサークラブで10数年前に既に会長を経験致しましたので、再び会長に就任する事はないと思っておりましたが、皆様方の推挙により来年度会長としての大任をおおせつかりました。精一杯頑張る所存で御座居ます。宣敷御協力の程お願い致します。

さて1987～1988年度国際ロータリー会長 チャールズ C. ケラー氏は

「ROTARIANS -- UNITED, IN SERVICE -- DEDICATED TO PEACE」
「ロータリアン -- 奉仕に結束 -- 平和に献身」をテーマにされました。その言葉の中には次のような意味も含まれています。即ち「あなたも私もロータリアンになったその時から同僚ロータリアンと次のような約束を結んだ、即ちそれは共に平和と奉仕に献身するという約束であります。ロータリークラブは会員ひとりひとりの豊かな心の資質がロータリーという友情に結ばれた特異な共同社会であり、私達はすべての人々に奉仕し、平和を求め、更にグローバルな視点から全世界のあらゆる地域あらゆる年齢層の人々に安寧をもたらすよう格別の努力と行動に邁進すべき責務があり、あれこれと唯考えるのみでなく実際の行動を起すべきだ」という意味を心に銘記すべきであります。

次に吉田茂雄ガバナーは本年度のテーマとして「フレッシュロータリー」を提唱され、①定款と細則の見直し、②拡大と増強3%、③ポリオプラスとG・S・Eに結束、の3点を重点項目として掲げておられます。当クラブとしましてはクラブの独自性を保ちながらガバナーの提唱された事項を遵行するよう努力を傾注したいと考えています。

即ち「定款と細則の見直し」については当クラブも創立5周年を迎える年度に入りますので、会員一同にクラブの定款、細則の遵守についての義務事項を十分に認識してもらいたいと思います。特に会員資格の自動的終結規定に関しては既に当クラブの理事会でもその遵守を確認していただきましたので厳重に実施致したいと思います。

ロータリーのような任意加入団体では会員一人一人がその会の規則を守ってこそ意

義ある目的に向って前進できるのであり、その規則に無知であったということで、その責任を免れる事は出来ないと思いますので充分定款、細則に精通していただきたいと思います。ロータリーは淀むことなく、絶えず流れて行かねばならず、そして時代の流れと共により良き方向に前進して行かねばなりません。それが定款、細則を遵守しての流れでないといけないと思います。

「拡大と増強3%」について現在の北クラブ会員数70名として2～3名の純増は可能数と思われるので努力して必ず達成したいと思います。

「ポリオプラスとG・S・Eに結束」については特にポリオプラスに就いては自然にあふれ出る人間愛の問題としてこれに取り組み世界は一つという友愛の精神で自らの思想として批判抜きに重要課題とし出来得る限りの会員の御協力をお願いする所存であります。

以上、国際ロータリー会長及びガバナーのターゲット、テーマの意向にそって会長としての会の運営の方針としたいと思います。勿論クラブの運営も又奉仕活動も全員参加が原則であります。役員や委員長に任せる事なく会員が個々に奉仕に力を傾注されてその結果としてのクラブ活動の成果が見られるのではないのでしょうか。

最後に会長にはロータリーが絶えず発展し、会員の皆様が充分奉仕活動が出来るよう配慮するという特別の責務のある事も充分自覚配慮致しますので、特に第5年度を迎える福岡北クラブの本年度の各委員会の活性化を切望致します。